

第4回 松原市子ども・子育て会議 要旨

日 時	平成26年7月14日 (月) 13:00～
場 所	松原市役所8階 大会議室B
出席者	会 長 渡邊 純 委 員 吉田 敬司 ・ 菊井 智明 ・ 中山 智恵 ・ 田崎 由佳 ・ 中野 信昭 ・ 芝内 佳世子 ・ 西田 幸子
事務局	松原市 子ども未来室

1. 開会

2. 議題

- (1) 前回会議について
- (2) 子ども・子育て支援事業計画の概要について
- (3) 将来の量の見込みについて
- (4) 教育・保育の提供区域について
- (5) その他

3. 閉会

- (3) 将来の量の見込みについて

【主な意見】

委 員：時間外保育（延長保育）は平成26年度にかけて利用が延びており、この先もつと利用が増えてくるのではないか。

事務局：もう一度、今後の利用の延びを考慮して、需要量を見直します。

委 員：保育所の2号認定のニーズは子どもの数が減少していく中、実施園は21園に増えるのか。今後増えていく可能性はあるのか。

事務局：保育園は平成26年度で20園あり、平成27年度に21園となる予定である。

委 員：子育て短期支援事業について、ニーズ量をどのように算出しているのか。

事務局：過去の実績に基づき、平均値をとっている。

委員：保育所の一時預かりについては、もう少し伸びてくるのではないか。

事務局：保育希望者が計画に基づいて、希望通り入所できれば、一時預かりはそれほど伸びてこないと考えている。

会長：ファミリー・サポート・センターのニーズ調査における需要量が0となっているが、どういうことなのか。

事務局：ニーズ調査対象者にたまたま利用しているひとがいなかったのではないかと考えている。

委員：ファミリー・サポート・センターを知っている人が少ないので、知名度をこれからどんどん上げていったほうがいいのではないかと思う。

委員：毎年ファミリー・サポート・センターの講習などを開催しているが、提供会員がなかなか伸びていかないのが実情である。

委員：ファミリー・サポート・センターのニーズはあると思うが、提供会員の少なさからうまく利用できていないのではないか。

委員：ファミリー・サポート・センターの利用を伸ばしていくには新しく母親になる方にどれくらい浸透しているかが大事である。

委員：保育所では、保護者にファミリー・サポート・センターの利用の案内をしている。

(4) 教育・保育の提供区域について

【主な意見】

委員：圏域を分けることにより、人口が集中するところにばかり保育所ができるのであれば、市の中で、保育所のある地域に人口が集中し、ますます人口の差が開いてしまうのではないか。

委員：通勤途中にある園を利用したい人もいるので、実情を考えると圏域をまたがった利用実態もあるので、1圏域でいいのではないか。